

家畜改良推進事業（後代検定）に おける牛群検定の役割

乳用牛群検定全国協議会

牛群検定と後代検定の関係

1 牛群検定とは？

牛群検定とは、月に1度、検定員が酪農家の搾乳に立会い、各乳牛の搾乳量、乳成分、繁殖状況、飼料など詳細なデータを収集し、そのデータから経営に役立つ主に4つの情報を酪農家に還元する事業です。

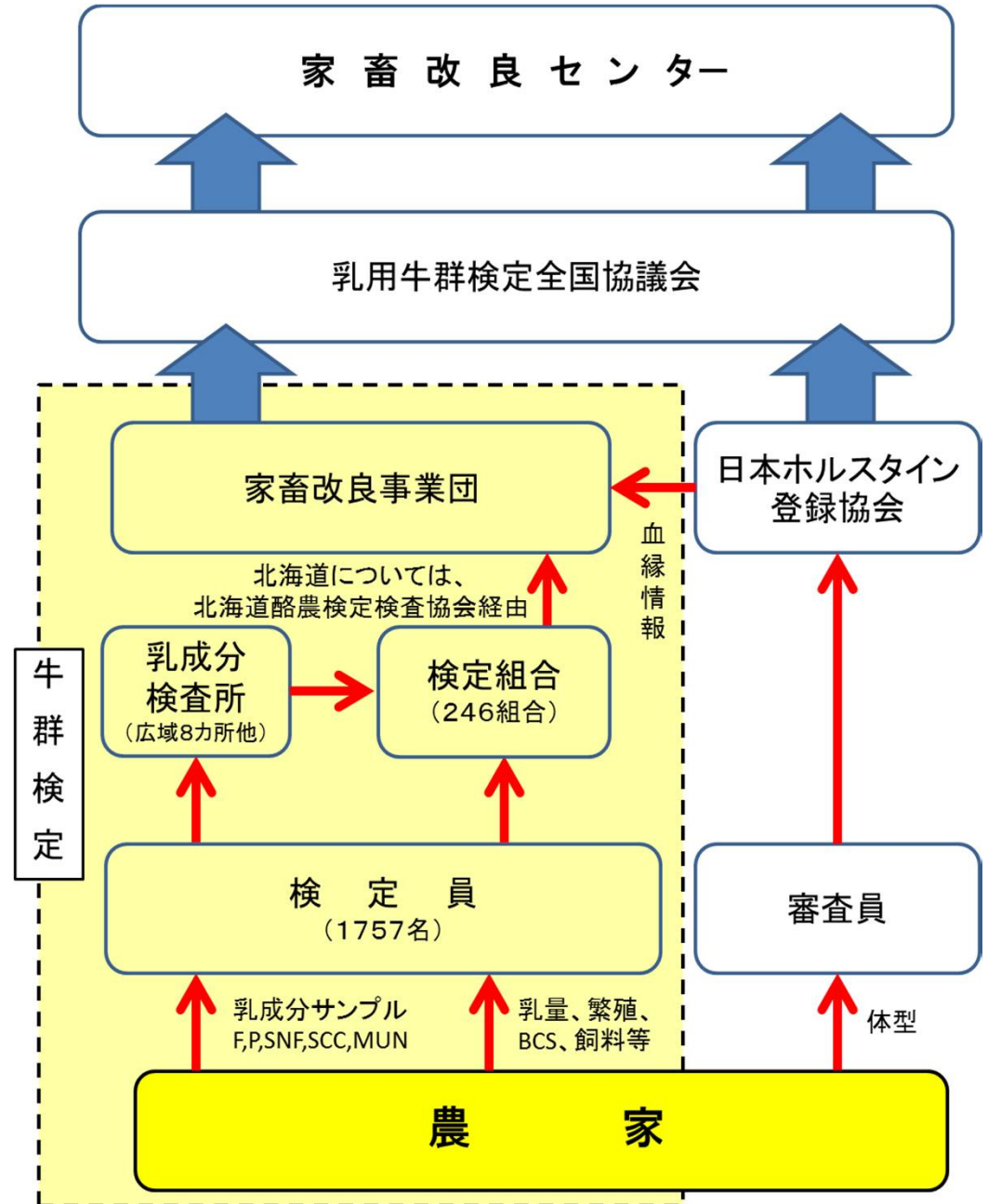
- 1) 飼養(健康)管理
- 2) 繁殖管理
- 3) 乳質、衛生管理
- 4) 遺伝的改良

2 後代検定とは？

上述の牛群検定の情報のうち1)~3)は、家畜改良事業団で集計分析されて酪農家に毎月還元されますが、4)遺伝的改良については、牛群検定データを用いて家畜改良センターで分析されます。

後代検定とは、牛群検定データを土台に乳牛の遺伝的能力を明らかにして、優秀な種雄牛を作出する事業です。遺伝的能力は雌牛についても計算され、これは当協議会を経由して家畜改良事業団により全国の検定農家に還元されます。

このように、牛群検定は、酪農家戸々の経営改善に役立つだけでなく、後代検定として我が国の次代を担う種雄牛を作出する大切な事業でもあります。



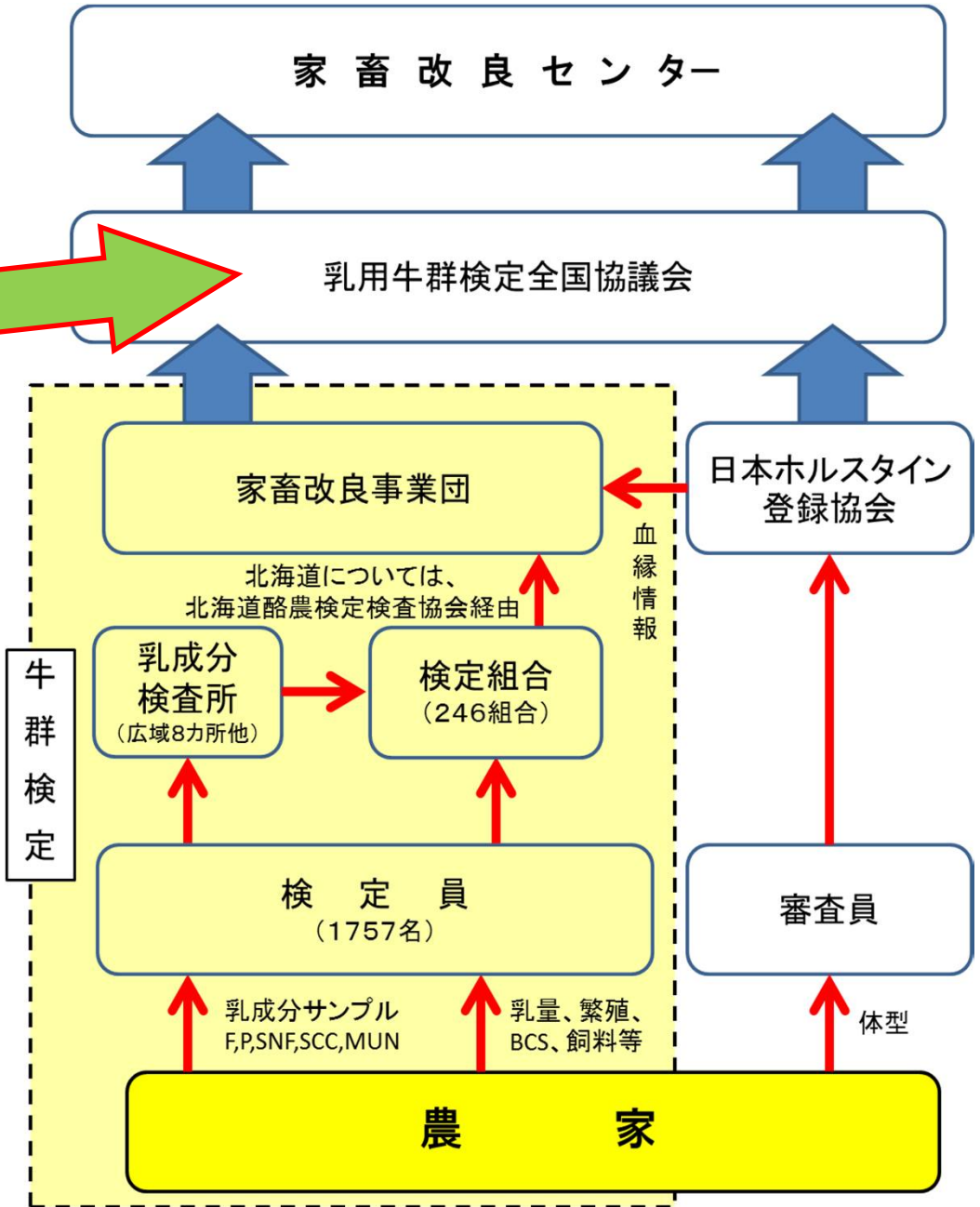
乳用牛群検定全国協議会の役割

1 牛群検定における役割

- 1) 検定の推進(独自財源)
 - ・乳用牛群検定全国推進会議の開催
(検定に関する規定等の見直し等)
 - ・検定成績とりまとめ等印刷物の配布および販売
 - ・研修会の開催、優秀検定員の表彰
 - ・検定加入の普及啓発の促進
 - ・検定員への各種連絡
 - ・ホームページの運営
- 2) 乳量計(独自財源)
 - ・牛群検定で用いる乳量計の承認
 - ・乳量計の精度維持(検査済みシール)
- 3) 乳用牛の飼養管理技術システム開発事業
(JRL事業)
- 4) 優良乳用後継牛生産システム高度化事業
(JRL事業)

2 後代検定における役割

- 1) 家畜改良推進事業(国庫補助)
 - ・家畜改良事業団の牛群検定関連資産(ハード、ソフト、DB等)の無償貸与を受けて実施
 - ①家畜改良事業団に蓄積された牛群検定データの遺伝評価用処理
 - ②日本ホルスタイン登録協会に蓄積された体型データおよび血縁データの遺伝評価用処理
 - ・評価成績とりまとめ(赤本)
 - ・各種会議
後代検定中央推進会議、ブロック会議、技術検討会等



家畜改良事業団の役割

1 牛群検定における役割(独自財源)

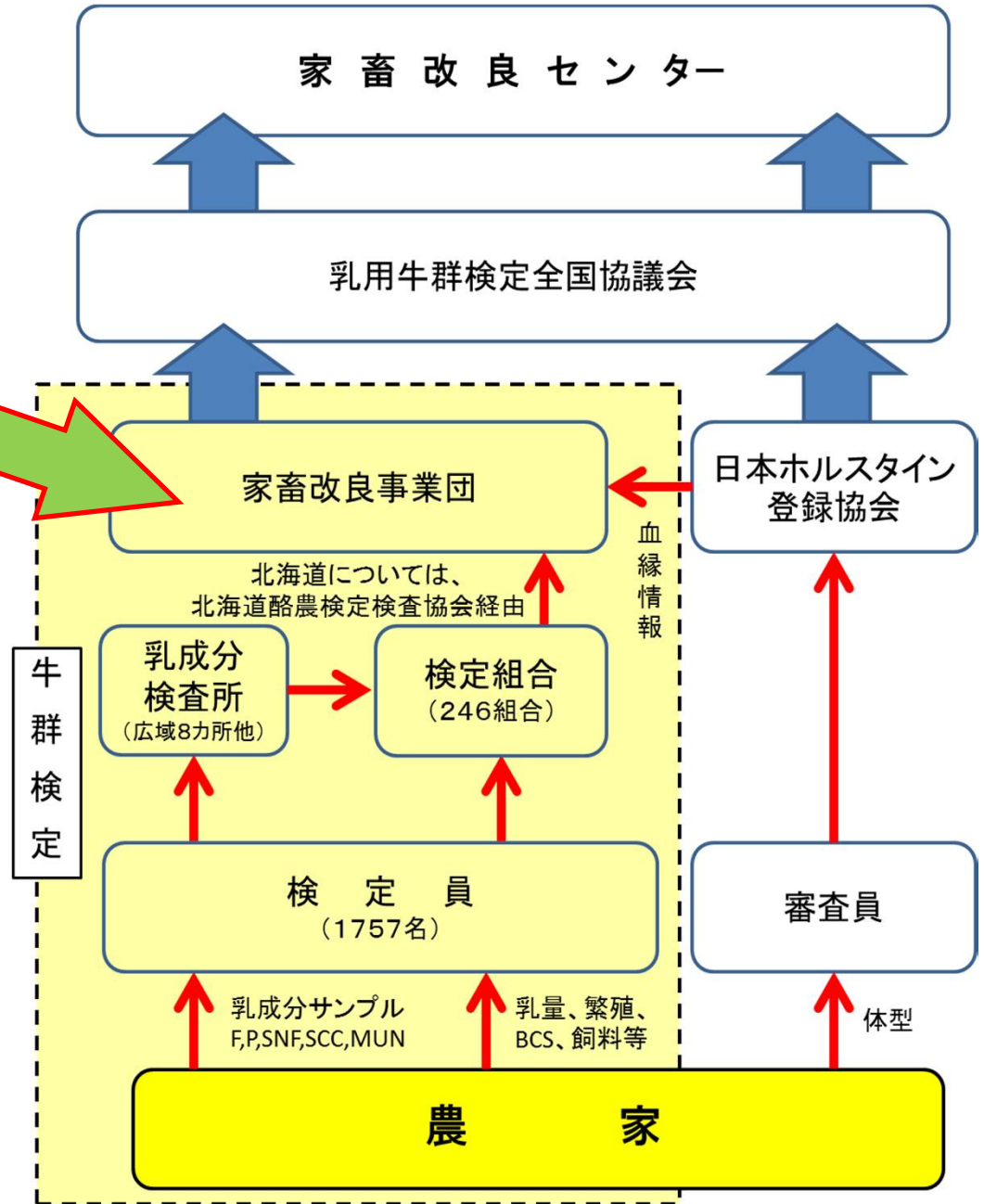
- 1) データ管理
 - ・検定データの各種処理、DB化
 - ・各エラー照会(詳細は4)参照
- 2) 情報提供関係
 - ・検定成績表等の各種帳票の配布
 - ・インターネット、Fax等を介した各情報提供
 - ・検定成績利活用に関する解説等の情報提供
- 3) 検定普及拡大
 - ・6ヶ月間の検定試行による加入促進
 - ・乳量計の貸与
 - ・各種研修会の開催
(検定員養成、指導者養成、検定成績活用等)
 - ・新しい検定手法の開発
- 4) エラー照会

以下のようなエラーを検定組合を経由して逐次照会を行っている

 - ・乳量、乳成分等の異常値および欠測
 - ・マスター上の不備
 - ・履歴関連の不備
- 5) ネットワーク管理
 - ・農家、検定員、乳成分検査所、検定組合における各種の検定機器(ATタイマ、HT、PC等)およびネットワークに関わるシステム管理
 - ・また、各機器にかかわる操作等のトラブル対応
- 6) ICAR会員としての活動

2 後代検定における役割

- 1) 牛群検定関連のハードおよびソフト、DB等の乳用牛群検定全国協議会への提供および技術支援
- 2) 改良情報の配布



検 定 組 合 の 役 割

1 牛群検定における役割

1) 一般管理

- ・検定組合は牛群検定実施農家により設立された任意団体。
- ・検定員の雇用、人事管理。
- ・補助事業の実施
- ・検定立会計画の作成(検定員シフト表)
- ・事業実施主体が検定組合をかねる場合もある
- ・検定料金の徴収

2) 検定実務

- ・検定組合に設置された検定PCにより行う
 - ①検定員のHTによる検定データの処理
 - ②乳成分検査所から送信される乳成分データの処理(検定データとの合体)
 - ③家畜改良事業団へのデータ送信
- ・乳量計、HT、サンプルビンといった検定機器管理

- ・検定情報等の各帳票配布
- ・検定加入促進

3) エラーチェック

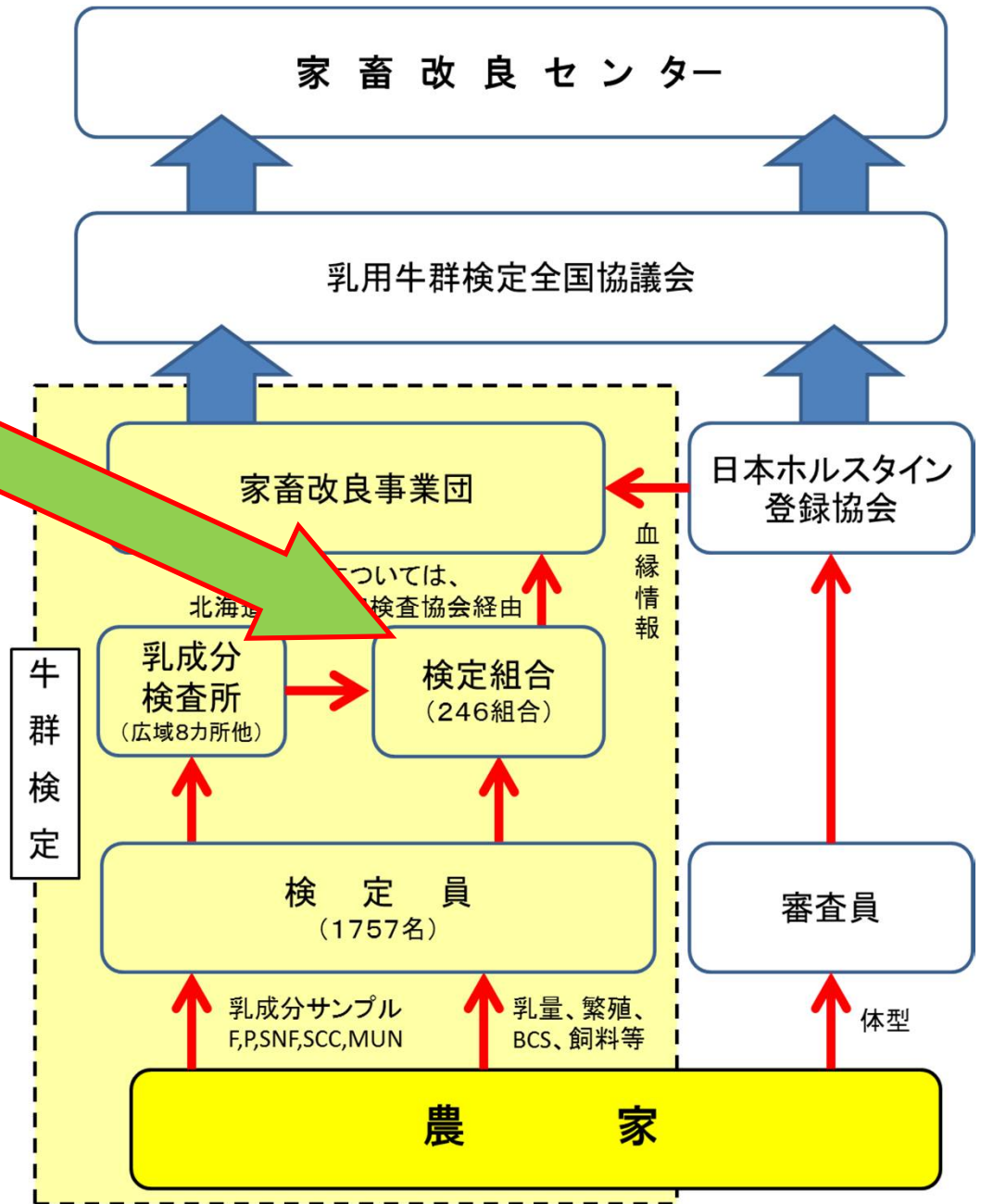
- ・乳成分データとの不整合
- ・家畜改良事業団からのエラー問合せ対応
- ・検定員がつぶせないエラー等

2 後代検定における役割

正確なデータ収集のための検定員への指導等

事業実施主体

各都道府県には、管下の検定組合をまとめる事業実施主体がある。各種補助事業の実施や県内での牛群検定指導体制などを統括する役割を持つ



乳成分検査所の役割

1 牛群検定における役割

1) 乳成分分析

- ・サンプルを分析し、検定組合に送信する。
- ・サンプルビンの洗浄、管理、検定組合への送付
- ・検査所によっては、乳成分の分析結果を検定農家にFax配信している(当団で行うものもあり)

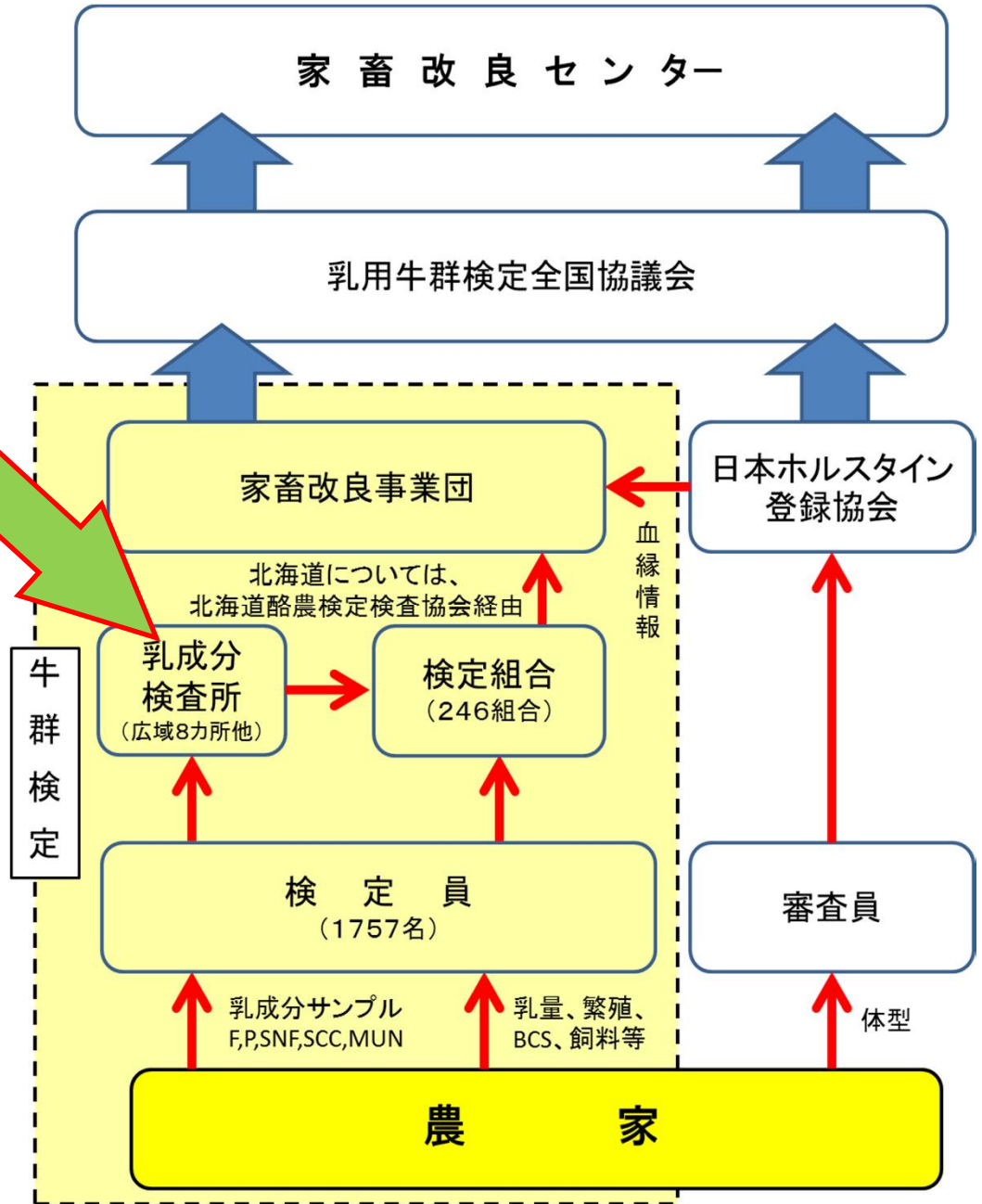
2) エラーチェック

- ・サンプル腐敗、凍結等の検定組合への連絡(検定再立会)

2 後代検定における役割

日本乳業技術協会が行う生乳検査精度管理認証制度による技能試験(外部精度管理)に参加する。

→日本乳業技術協会はICARインターラボの日本メンバーとして国際間の乳成分分析の精度管理を実施している。従って、牛群検定の乳成分サンプルが生乳検査精度管理認証制度に参加している分析所であることが、種雄牛評価におけるインターブル評価を可能としている。



検 定 員 の 役 割

1 牛群検定における役割

1) 検定実務

- ・検定農家ごとに月に1度農家を訪問し、搾乳立会を行う
- ・乳量計の設置および撤去、メンテナンス
- ・各牛の搾乳量を測定し、乳成分サンプルを採取する
- ・乳成分サンプルの輸送
- ・1頭ごとの授精状況や濃厚飼料の給与状況を調査し記録する
- ・BCSや体重等を測定する
- ・新規加入の牛、除籍された牛を記録する
- ・以上のデータのHT入力と検定組合へのデータ送信

2) エラーチェック

- ・乳量の異常値および欠測
- ・マスター上の不備
- ・履歴関連の不備

3) その他

- ・地域によっては、検定農家への指導業務を兼ねて行っている場合がある

2 後代検定における役割

- 1) 検定員が訪問しない検定は自家検定とされ、後代検定においてデータ採用されない。

